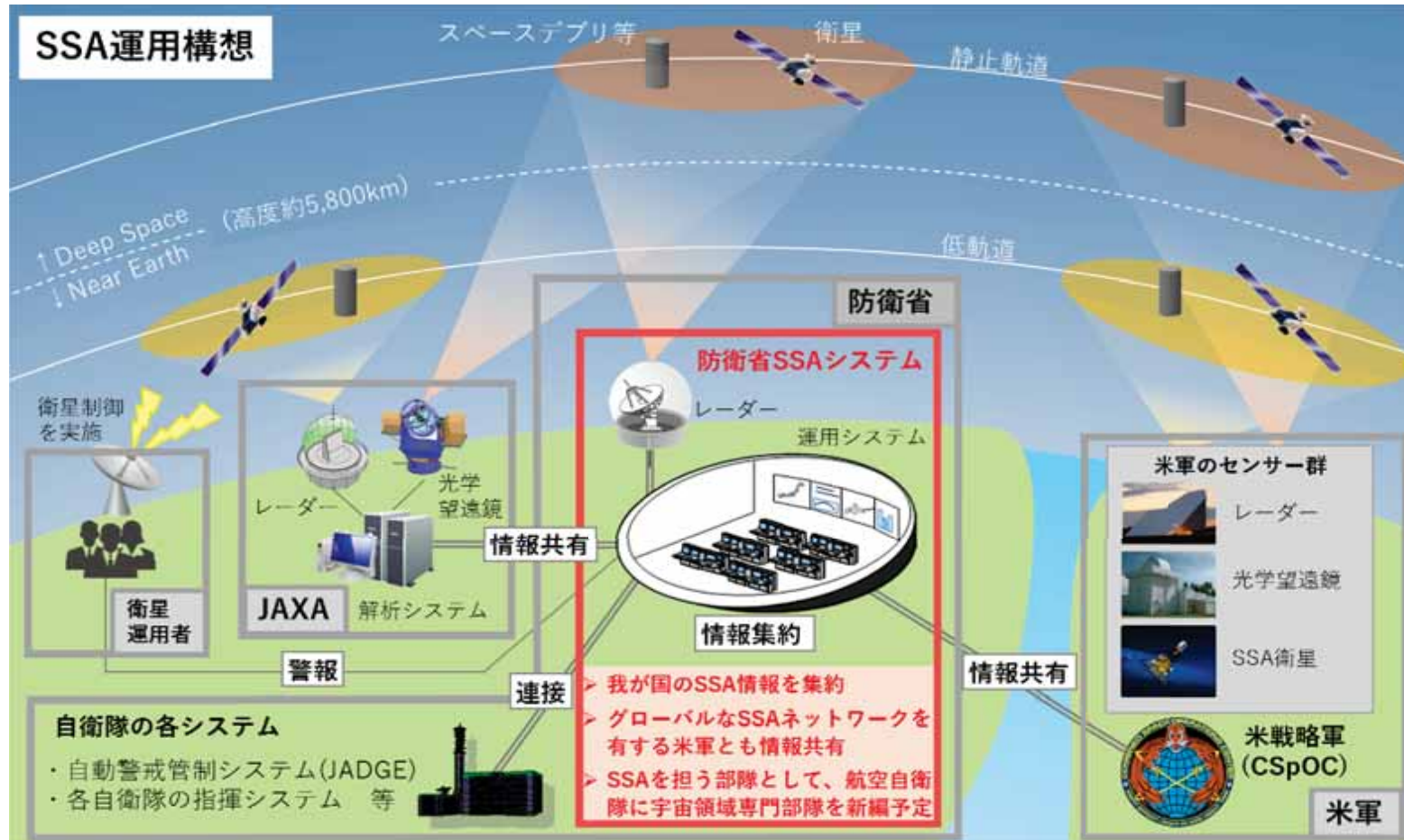


防衛省におけるSSAに関する取組の状況

令和元年5月31日
防 衛 省

宇宙状況監視（SSA）体制構築に向けた取組

- スペースデブリ等から我が国にとって重要な人工衛星を守るため、宇宙空間を常時継続的に監視
- 文科省/JAXAと連携し、防衛省の宇宙状況監視システムを令和4年度までに構築（宇宙基本計画）
- 防衛省は、主に静止軌道を監視可能なレーダーと、情報の集約・処理・共有を行う運用システムを整備



上記の取組に加え、中期防衛力整備計画において、宇宙設置型光学望遠鏡及びSSAレーザー測距装置を新たに導入し、宇宙空間の状況を地上および宇宙空間から常時継続的に監視する体制を構築することとしている。

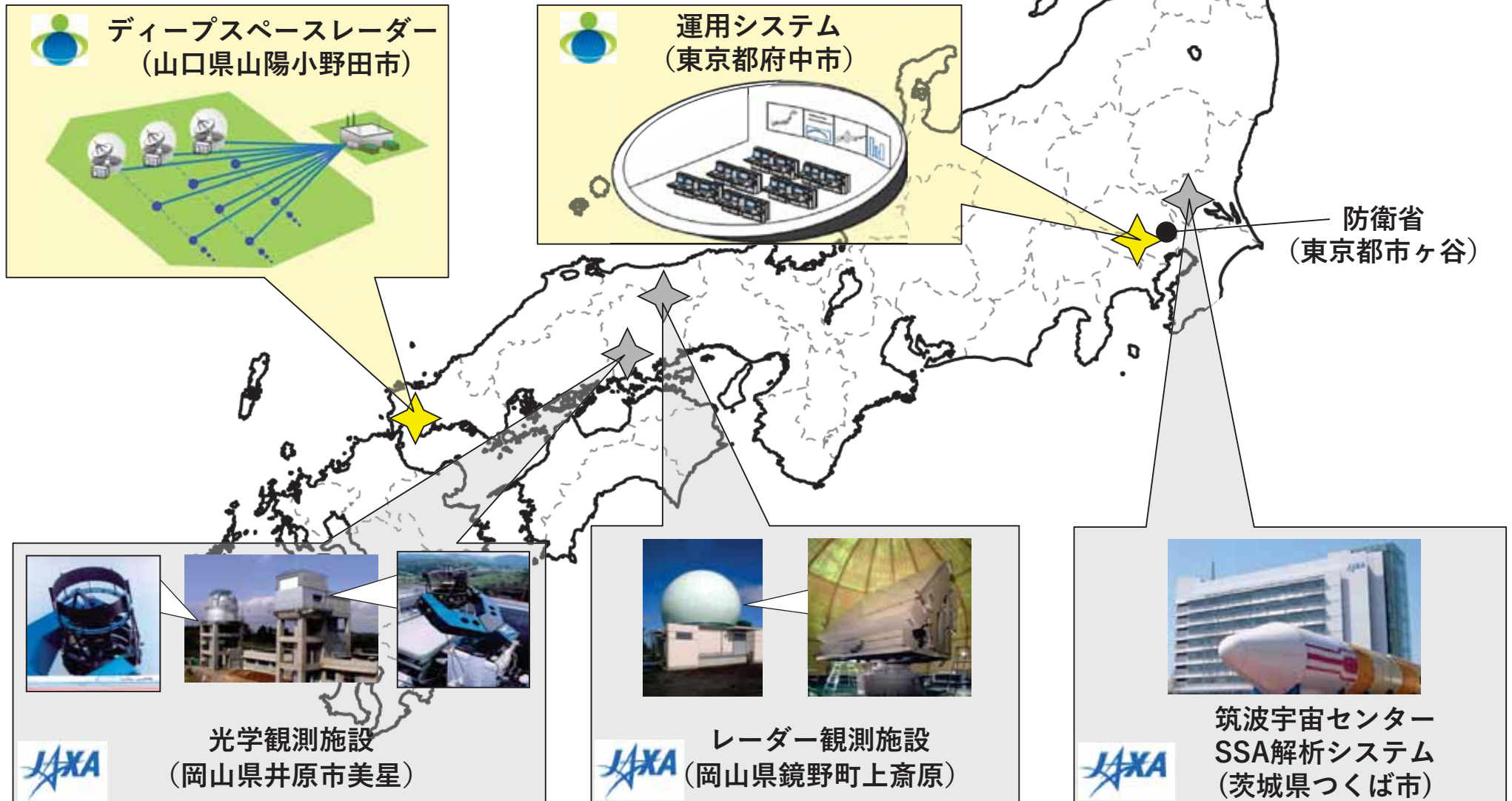
宇宙設置型光学望遠鏡(イメージ図) ▶



SSA関連施設の設置場所

【防衛省SSA運用体制の実施線表】

平成28年度	29	30	31/令和元	2	3	4	5~
システム全体設計	システム整備(設計)			システム整備・試行運用		宇宙領域専門部隊新編 ▼	実運用
約2億円	約10億円	約28億円	約260億円				



※JAXA SSA施設は、令和4年度までに更新等を実施予定